

平成 28 年 11 月 8 日

鹿児島大学病院 病理部（病理診断科）で

心臓粘液腫と診断された患者さん及びご家族の方へ

（ 臨床研究に関する情報 ）

鹿児島大学病院 病理部（病理診断科）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 既採取心臓粘液腫におけるムチン発現に関する研究
(多施設共同研究)

【研究機関】 鹿児島大学病院 病理部（病理診断科）

【研究責任者】 谷本 昭英（病理部長兼教授）

【研究の目的】

心臓粘液腫は成人の心臓に発生する頻度の最も高い腫瘍です。良性腫瘍ですが、腫瘍の増大による心腔の閉塞や心筋梗塞を含めた血栓塞栓症による死亡例の報告があります。外科的切除により治癒しうる腫瘍ですが、再発率は 1～4%とされています。しかし、どの症例が再発・増大しやすいのか、それにより死亡の危険性があるのかといった検討は未だ少ないのが現状です。近年の研究でムチンが様々な癌で悪性度と関連があることが判ってきました。心臓粘液腫は良性腫瘍ですが、腫瘍内に多量のムチンを有しており腫瘍の性状との関連が疑われ

ます。そこで、手術で切除された心臓粘液腫の組織を用いて、主にムチン(粘液)の状態を調べて、今後の治療や診断に役立てようという研究を行うことにしました。

【研究の方法】

検査や手術により摘出された組織を用いて免疫染色という染色を行います。すでに病理検査が済んだ後の余剰分を用います。新たに採取するわけではありませんので、副作用や不利益はありません。

●対象になる患者さん

平成15年1月1日から平成26年12月31日までに鹿児島大学病理学分野が院内で診断した患者さん及び外部受託をうけて診断した患者さんの中で心臓粘液腫と診断された患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

お名前や住所などの個人情報を使用致しません。年齢や性別、腫瘍の大きさ、腫瘍の再発の有無、心腔閉塞や塞栓症の発症の有無について、情報を使用致します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科病理学分野の研究費(使途特定寄付金)で実施します。資金の一部には企業等からの寄付金が含まれますが、広く学術を振興するためのものであり、この研究

を特定したものではありません。この研究に対する企業等からの寄付や労務の提供はありませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先/研究代表者】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 病理部 (病理診断科)

助教 平木翼

電話 099-275-5263 FAX 099-264-6348